



<PRESS RELEASE>

2012年3月19日

**日本唯一の FIFA 公認 U-12 国際サッカー大会！
“ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN”愛知会場予選を実施！
“世界に向かって挑戦する”決勝大会進出 4 チームが決定！！
～大会 MVP には今年初めて女子選手が輝く！～**

ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN 実行委員会

「ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN」(特別協賛:ダノンジャパン株式会社、ダノンウォーターズオブジャパン株式会社)は、3月18日(日)、愛知県豊田市の豊田市運動公園において、国内予選大会の第3弾となる愛知会場予選を開催いたしました。ハイレベルで白熱した激闘の末、ヴァンフォーレ甲府 U-12(山梨)、レジスタ FC(埼玉)、ISE YAMATO FC Jr.(三重)、Uスポーツクラブ(山梨)の4チームが東京で行われる決勝大会へと進出することが決定いたしました。

愛知会場予選では、東海北陸地方を中心に、新潟、山梨、埼玉、北海道など全国から合計32チームが参加し、予選リーグ、決勝進出チーム決定戦を行いました。当日は、大会アンバサダーである北澤豪さんも会場に駆け付け、小雨が時折降るあいにくの天気にも関わらず、各チームとも世界大会へとつながる決勝大会への切符をかけたハイレベルな激闘を繰り広げました。その結果、ヴァンフォーレ甲府 U-12(山梨)、レジスタ FC(埼玉)、ISE YAMATO FC Jr.(三重)、Uスポーツクラブ(山梨)の4チームが3月31日(土)・4月1日(日)に東京(駒沢オリンピック公園総合運動場)にて開催される決勝大会へと駒を進めることになりました。

「ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN」は、日本で唯一の世界につながる財団法人日本サッカー協会後援のU-12サッカー大会です。決勝大会を勝ち抜いた優勝チームは、「ユーロ2012」の開催地でもあるポーランドで今年秋に行われる世界大会へ日本代表チームとして出場します。世界大会である「ダノンネーションズカップ」は、U-12世代の“世界一”を決める FIFA 公認国際サッカー大会で、世界40カ国の代表チームによるハイレベルな試合が行われます。今後も、残る東京会場予選、決勝大会と熱戦が続くこの「ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN」に是非ご注目下さい。

<ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN 愛知会場予選 大会結果>

■大会名 : ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN 愛知会場予選

■開催日時 : 2012年3月18日(日)

■開催会場 : 豊田市運動公園(愛知県豊田市高町東山4-97)

■ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN 決勝大会進出チーム

◆ ヴァンフォーレ甲府 U-12(山梨) ◆ レジスタ FC(埼玉)

◆ ISE YAMATO FC Jr.(三重) ◆ Uスポーツクラブ(山梨)

上記4チームは、3月31日(土)・4月1日(日)東京・駒沢オリンピック公園総合運動場で行われる決勝大会へ進出

<本件に関するお問い合わせ>

ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN PR 事務局

担当 株式会社フルハウス 山下・佐野

Tel:03-5413-0293 Fax:03-3401-8085 E-mail s.yamashita@fullhouse.jp

携帯: 080-5227-9406(山下)



「ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN 愛知会場予選」大会レポート

3月18日(日)、豊田市運動公園で開催された「ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN」の愛知会場予選大会。

前日からの雨はあがったものの、今にも泣きだしそうな不安定な空模様のなかで行われた開会式では、参加した選手全員が、いつも自分たちを支えてくれている人々へ感謝の気持ちを込めて、3月31日と4月1日に東京都・駒沢オリンピック公園総合運動場で開催される決勝大会への出場を目指し、全力でプレーすることを誓った。

東海・北陸地方を中心に、新潟、山梨、埼玉、北海道のチームも含めた合計32チームを4チームのグループ8つに分けた総当りの予選リーグが行われ、どの試合もヒートアップした。なかでも特に目立ったのが女子選手の活躍。稲沢フットボールクラブ(愛知県)、桑名JFCサッカースポーツ少年団(三重県)やスポーツクラブ・レインボー垂井FC U-12(岐阜県)などでは、チームにとっては欠くことのできない主力メンバーとして試合に出場し、男子選手の強いあたりにもひるむことなく、互角以上のテクニックを披露していた。

予選リーグ・グループ内の成績上位2チームがそれぞれ決定したあとは、計16チームによる決勝進出チーム決定を懸けたトーナメントでの戦い。一発勝負の緊張感のなかでも、選手たちは1対1の局面にも逃げることなくチャレンジ。それぞれが自分たちの持ち味を存分に発揮し、観客をわかせた。

そして、栄えある決勝進出を決めたのは、予選リーグでは1敗を喫したものの、最後まであきらめない粘り強い姿勢が功を奏したISE YAMATO FC Jr.(三重県)。アイデアのある個人技と闘志あふれるプレーで果敢に相手チームに挑んだレジスタFC(埼玉県)。ミドルレンジからでも鋭いシュートを放つ一方、安定したパスサッカーで相手ゴールに迫るヴァンフォーレ甲府U-12(山梨県)。そして、予選リーグの3試合を計15得点という今大会の最多得点をあげたUスポーツクラブ(山梨県)の4チームだった。

閉会式では、大会アンバサダーの北澤豪氏が登場し、「今は達成できないことも、続けることで、5年、10年後には達成できるかもしれない。だから自分の夢を信じて、前を向いて頑張っていこう!!」と選手たちにエールを送った。また、大会MVPは出場した女子選手の中でも、一際輝く活躍を見せていたスポーツクラブ・レインボー垂井FCの10番でキャプテン、「長屋光」選手が獲得。目標は「なでしこジャパン」入りという同選手は、残念ながらチームはグループリーグで3連敗し、決勝進出チーム決定トーナメントに進出できなかったものの、局面では素晴らしいテクニックを見せたことが評価された。

見る者を惹きつける白熱した試合の多かった愛知会場予選大会。きっと、参加した選手をはじめ、指導者、審判員、そして応援に駆け付けた保護者も含め、大会に関係したすべての人々は、すっきりとした心地よい疲労感で会場を後にしたことだろう。



予選リーグ

A	チーム名	ワンフール平岡FC	安城モンキーズSC	大虫サッカースポーツ少年団	桑名JFCサッカースポーツ少年団	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位
A 1	ヴァンフォーレ甲府U-12(山梨県)		4 ○ 0	5 ○ 0	2 ○ 0	3 勝 0 分 0 敗	9	11	0	11	1
A 2	安城モンキーズSC(愛知県)	0 ● 4		0 △ 0	0 △ 0	0 勝 2 分 1 敗	2	0	4	-4	3
A 3	大虫サッカースポーツ少年団(福井県)	0 ● 5	0 △ 0		0 ● 2	0 勝 1 分 2 敗	1	0	7	-7	4
A 4	桑名JFCサッカースポーツ少年団(三重県)	0 ● 2	0 △ 0	2 ○ 0		1 勝 1 分 1 敗	4	2	2	0	2

B	チーム名	郡上八幡FC	名古屋グランパス・三好	静岡サッカースポーツ少年団	稲沢フットボールクラブ	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位
B 1	郡上八幡FC(岐阜県)		0 ● 3	1 ● 2	4 ○ 1	1 勝 0 分 2 敗	3	5	6	-1	3
B 2	名古屋グランパス・三好(愛知県)	3 ○ 0		0 ● 2	4 ○ 0	2 勝 0 分 1 敗	6	7	2	5	2
B 3	静岡中田サッカースポーツ少年団(静岡県)	2 ○ 1	2 ○ 0		1 ○ 0	3 勝 0 分 0 敗	9	5	1	4	1
B 4	稲沢フットボールクラブ(愛知県)	1 ● 4	0 ● 4	0 ● 1		0 勝 0 分 3 敗	0	1	9	-8	4

C	チーム名	テゾーウフットボールクラブ	SSS札幌サッカースクール	スポーツクラブ・レインボー	八事フットボールクラブ	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位
C 1	テゾーウフットボールクラブ(愛知県)		0 ● 2	4 ○ 1	1 △ 1	1 勝 1 分 1 敗	4	5	4	1	3
C 2	SSS札幌サッカースクール(北海道)	2 ○ 0		4 ○ 0	1 △ 1	2 勝 1 分 0 敗	7	7	1	6	1
C 3	スポーツクラブ・レインボーFC(U-12)(岐阜県)	1 ● 4	0 ● 4		0 ● 1	0 勝 0 分 3 敗	0	1	9	-8	4
C 4	八事フットボールクラブ(愛知県)	1 △ 1	1 △ 1	1 ○ 0		1 勝 2 分 0 敗	5	3	2	1	2

D	チーム名	エスプリ長岡FC	フェリエル名古屋	レジスタFC	FCセントレア	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位
D 1	エスプリ長岡FC(新潟県)		0 △ 0	0 ● 3	0 ● 2	0 勝 1 分 2 敗	1	0	5	-5	3
D 2	フェリエル名古屋(愛知県)	0 △ 0		0 ● 9	0 ● 1	0 勝 1 分 2 敗	1	0	10	-10	4
D 3	レジスタFC(埼玉県)	3 ○ 0	9 ○ 0		1 ○ 0	3 勝 0 分 0 敗	9	13	0	13	1
D 4	FCセントレア(愛知県)	2 ○ 0	1 ○ 0	0 ● 1		2 勝 0 分 1 敗	6	3	1	2	2

E	チーム名	FC.Plaisir	各務原FC DRACHE	名古屋フットボールクラブ	西山サッカー友の会	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位
E 1	FC.Plaisir(愛知県)		0 △ 0	0 ● 1	1 ○ 0	1 勝 1 分 1 敗	4	1	1	0	2
E 2	各務原FC DRACHE(岐阜県)	0 △ 0		0 ● 2	0 △ 0	0 勝 2 分 1 敗	2	0	2	-2	4
E 3	名古屋フットボールクラブEAST(愛知県)	1 ○ 0	2 ○ 0		0 △ 0	2 勝 1 分 0 敗	7	3	0	3	1
E 4	西山サッカー友の会(愛知県)	0 ● 1	0 △ 0	0 △ 0		0 勝 2 分 1 敗	2	0	1	-1	3

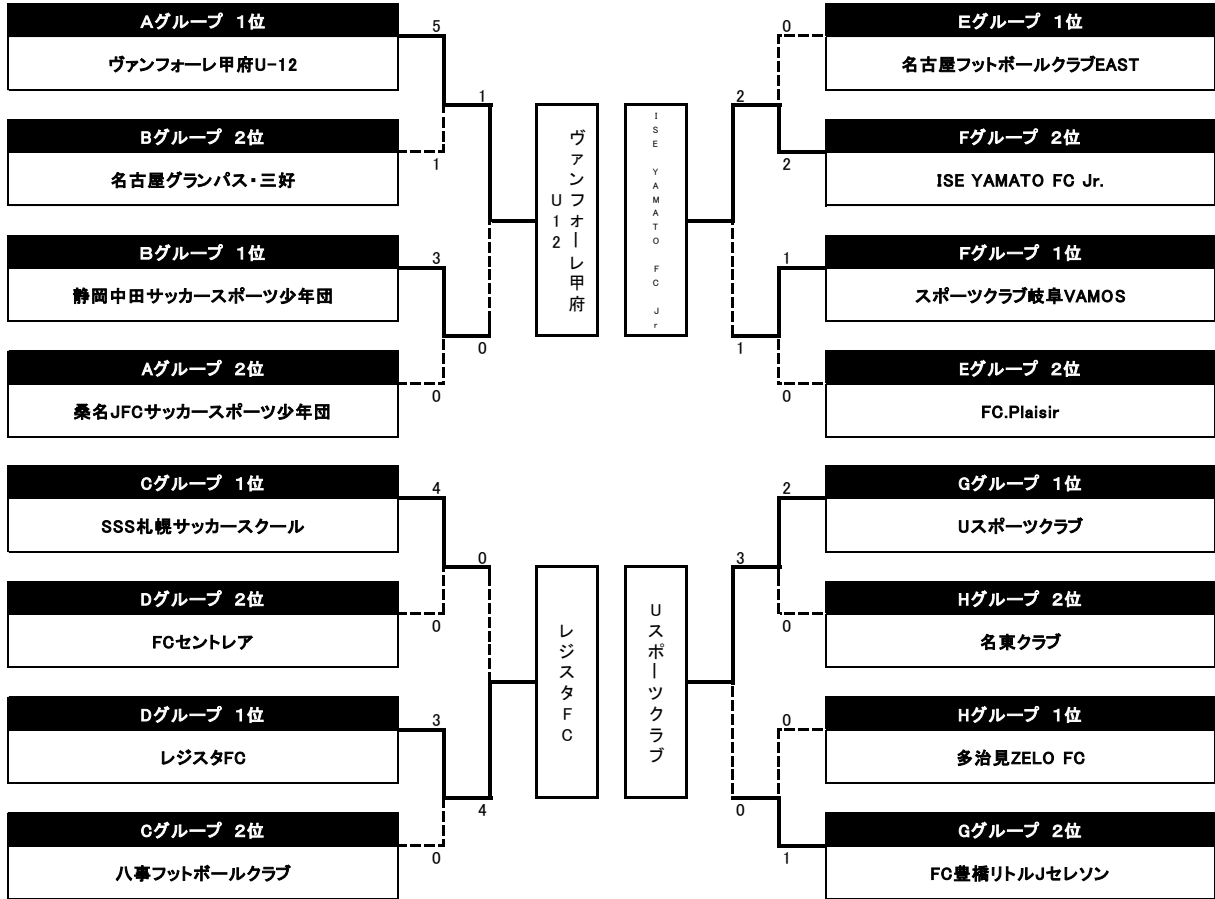
F	チーム名	安城北FC	F.C.ピアンコ	スポーツクラブ岐阜VAMOS	ISE YAMATO FC Jr.	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位
F 1	安城北FC(愛知県)		1 ● 3	0 ● 4	0 ● 1	0 勝 0 分 3 敗	0	1	8	-7	4
F 2	F.C.ピアンコ(愛知県)	3 ○ 1		0 ● 1	0 ● 4	1 勝 0 分 2 敗	3	3	6	-3	3
F 3	スポーツクラブ岐阜VAMOS(岐阜県)	4 ○ 0	1 ○ 0		3 ○ 0	3 勝 0 分 0 敗	9	8	0	8	1
F 4	ISE YAMATO FC Jr.(三重県)	1 ○ 0	4 ○ 0	0 ● 3		2 勝 0 分 1 敗	6	5	3	2	2

G	チーム名	FC豊橋リトルセレン(愛知県)	FC四日市U-12	名南フットボールクラブ	USスポーツクラブ	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位
G 1	FC豊橋リトルセレン(愛知県)		4 ○ 0	4 ○ 1	0 ● 3	2 勝 0 分 1 敗	6	8	4	4	2
G 2	FC四日市U-12(三重県)	0 ● 4		1 ● 5	0 ● 6	0 勝 0 分 3 敗	0	1	15	-14	4
G 3	名南フットボールクラブ(愛知県)	1 ● 4	5 ○ 1		0 ● 6	1 勝 0 分 2 敗	3	6	11	-5	3
G 4	USスポーツクラブ(山梨県)	3 ○ 0	6 ○ 0	6 ○ 0		3 勝 0 分 0 敗	9	15	0	15	1

H	チーム名	名東クラブ	尾張クラブヴェルメーニ	多治見ZELO FC	ベレニアルSC	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位
H 1	名東クラブ(愛知県)		1 ○ 0	0 ● 2	5 ○ 0	2 勝 0 分 1 敗	6	6	2	4	2
H 2	尾張クラブヴェルメーニ(愛知県)	0 ● 1		1 ● 3	1 ● 2	0 勝 0 分 3 敗	0	2	6	-4	4
H 3	多治見ZELO FC(岐阜県)	2 ○ 0	3 ○ 1		2 ○ 0	3 勝 0 分 0 敗	9	7	1	6	1
H 4	ベレニアルSC(愛知県)	0 ● 5	2 ○ 1	0 ● 2		1 勝 0 分 2 敗	3	2	8	-6	3



決勝進出チーム決定トーナメント





ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN 大会概要

- 大会名称 :ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN
- 主催 :ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN 実行委員会
- 主管 :財団法人東京都サッカー協会、財団法人愛知県サッカー協会、
社団法人大阪府サッカー協会、社団法人宮城県サッカー協会
- 後援 :文部科学省、外務省、財団法人日本サッカー協会、共同通信社
- 特別協賛 :ダノンジャパン株式会社、ダノンウォーターズオブジャパン株式会社
- 協賛 :SPX フローテクノロジージャパン株式会社、
北関東トウエンティワン流通事業協同組合、鴻池運輸株式会社、
清水建設株式会社、ダイセイエブリー二十四株式会社、高砂熱学工業株式会社、
株式会社竹中工務店、日世株式会社
- 協力 :アディダスジャパン株式会社、凸版印刷株式会社、プラス株式会社

■大会趣旨

- ・世界大会でプレーできる切符を手にする機会を、日本の子供たちに広く提供する。
- ・サッカーを通じて、フェアプレー精神、チームワーク、他チームとの交流や親睦を図り、健全な心身を育てる場を提供する。
- ・サッカーを通じて、子供たちに社会貢献や国際交流に目を向けてもらう機会を提供する。

■大会日程

<予選大会>

- ・大阪会場予選 2012 年 3 月 4 日(日) 大阪府・J-GREEN 堺
- ・特別予選大会 2012 年 3 月 10 日(土) 宮城県・アディダススポーツパーク
- ・愛知会場予選 2012 年 3 月 18 日(日) 愛知県・豊田市運動公園
- ・東京会場予選 2012 年 3 月 25 日(日) 東京都・駒沢オリンピック公園総合運動場

<決勝大会>

- 2012 年 3 月 31 日(土)、4 月 1 日(日) 東京都・駒沢オリンピック公園総合運動場

■参加チーム数

<予選大会>

大阪・愛知・東京予選会場 各 32 チーム × 3 会場(計 96 チーム)

特別予選大会 12 チーム

<決勝大会>

予選大会上位 12 チーム + 特別予選大会上位 2 チーム + 前年度決勝大会ベスト 18 チーム



ダノンネーションズカップについて

2000年から開催している FIFA 公認の U-12 サッカー世界大会であり、元フランス代表のジダン氏が大会のアンバサダーを務めています。現在は世界 40 カ国で予選を行い、250 万人以上の少年・少女が参加しています。2012 年の日本大会では、東京・愛知・大阪の 3 カ所で予選を行い、今秋ポーランドで行われる第 13 回世界大会に出場する日本の代表チームを決定します。

「ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN」ホームページ (<http://www.danonecup.jp>)

“東北応援プロジェクト”について

「ダノンネーションズカップ」は、単に小学生サッカー大会を実施するだけでなく、そこに集まる子どもたちに、社会貢献や国際交流に目を向けてもらうことも、大会趣旨の一つとしています。「東北応援プロジェクト」は、そうした大会趣旨に基づき、社会貢献の一環として、2011 年 3 月 11 日に起こった東日本大震災において主な被災地となった東北地方を、大会に参加するみんなと一緒に応援しよう、というプロジェクトです。

“特別予選大会 in 宮城”について

東日本大震災の発生から約 1 年。震災発生直後から比べると、被災地の状況は少しずつ変化を見せ、被災地のサッカーを愛する子どもたちにとっても、緊急物資が必要だった時期は過ぎ、今は「本気になってサッカーに挑む」、試合や大会などといった真剣勝負の場が求められています。そこで、2012 年大会においては、「東北応援プロジェクト」として、震災から 1 年後の 2012 年 3 月 10 日に、改めて震災で被害に遭った方々に対しての追悼の意を表すとともに、被災地の子どもたちが参加できるサッカー大会を開催することで、少しでも復興支援のお手伝いができれば、と考えました。

ダノンジャパンについて www.danone.co.jp

ダノンは、25 年以上にわたり、日本の消費者の皆様にも栄養価のあるチルド乳製品をお届けしています。今日では、「ダノンビオ」、「ダノンデンシア」、「プチダノン」、「ベビーダノン」、「ダノンヨーグルト」の製品を取り揃え、おいしさだけでなく、ヘルシーな食品をお届けしています。

ダノングループについて www.danone.com

ダノングループは、フォーチュン 500 に数えられ、世界において最も成功を収めているヘルシーな食品をお届けする企業のひとつです。世界中のできるだけ多くの人々に、食品を通じて健康をお届けすることを使命に掲げています。この使命を達成していくことが、ダノングループの継続的な力強い成長の原動力となっています。現在、全世界において五大洲 120 カ国以上で事業を展開しており、約 8 万人の従業員を擁し、約 160 の工場があります。2011 年度売上 193 億ユーロを誇り、チルド乳製品（世界第 1 位）、ウォーター（世界第 2 位）、乳幼児向け食品（世界第 2 位）、および医療用栄養食の 4 つのビジネスを核としたヘルシーな食品をお届けする企業として確固たる地位を築いています。

Euronext Paris 上場企業。社会貢献活動としては、Dow Jones Sustainability Index STOXX and World, ASPI Eurozone、Ethibel Sustainability Index に入っています。